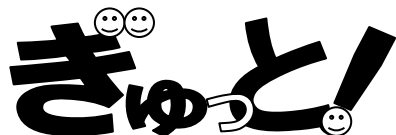


センターだより



子どもたちの目標



- 「規則的な生活と元気な体づくり」
- 「意欲的にいろいろなあそびを楽しむ」
- 「自分のことは自分でする」
- 「家族以外の人と過ごすことができ、友達と仲良くできる」
- 「知らない所でもなじむことができる」
- 「気持ちや感性を適切に表現でき、落ち着いて行動できる」
- 「自分の意志を伝え、他人の意志を受け止められる」

令和5年度 1月号

四天王寺悲田院 児童発達支援センター

🌸🎉🍡🍡🍡 あけましておめでとうございます 🍡🎉🌸

旧年は保護者の皆様のご理解とご協力のもと、子どもたちの健やかな成長のお手伝いできたこと、心より感謝申し上げます。

新年も引き続き、子どもたちの笑顔がたくさん見られるような保育を行なっていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。



おしらせ

## 1月の予定

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 5日(金) 療育スタート | 20日(土) おやすみ     |
| 6日(土) 休園     | 27日(土) おやすみ     |
| 8日(祝・月) おやすみ | 29日(月) 避難訓練 保育棟 |
| 13日(土) おやすみ  |                 |

○実習生が来ます クラスに入りましたらよろしくお願いいたします。

- |                 |             |     |    |
|-----------------|-------------|-----|----|
| 1/15(月)~1/26(金) | 大阪健康ほいく専門学校 | 保育士 | 1名 |
| 1/15(月)~1/29(月) | 大阪健康ほいく専門学校 | 保育士 | 1名 |

○写真販売があります

10月~12月までの写真を「はいチーズ!」にて販売致します。何かご不明な点がございましたらクラス担任までご相談ください。

写真申し込み期間：1/15(月)~1/31(水)

○2月3日(土) 節分会について

この日は土曜日ですが、節分行事実施の為、開園いたします。午前の設定遊び中に職員扮する鬼が順番に各クラスを回り、ボール等を豆に見立てて鬼に投げ、邪気払いを行う予定です。

この日は9:30~13:20の療育時間となる為、お迎えの時間にご注意ください。



○送迎車両車内置き去り防止装置 設置報告

令和5年度より「送迎用バス(車両)の置き去り防止を支援する安全装置のガイドライン」が策定され、車内置き去り防止装置設置義務化となりました。当センターでは、12月中旬に全ての送迎バスに車内置き去り防止装置を設置いたしました。今後は職員による目視確認と車内置き去り防止装置のWチェックで送迎を行います。

○児童発達支援アンケートを実施します

児童発達支援事業に関するアンケートを実施します。集計結果についてはホームページに掲載するとともに、より良いサービスを提供できるよう活用させていただきます。恐縮ではございますが、締め切りを1/26(金)とさせていただきます。大変お手数ですがご協力をお願いいたします。

「ながら族」と聞いて思い出すことは何ですか？

- テレビを見ながらご飯を食べる
- スマホ見ながら、話しかける
- 歩きながらスマホを見る

などなど思いつく、〇〇しながら、は沢山ありますが、今回のテーマは「子育てを楽しむためには、“ながら”を止めよう」です。

その“ながら”とは、

- 育児をしながら、仕事のことを考えている
- 仕事をしながら、育児の反省をしている
- 子どもと遊びながら、発達のことを考えている などです。



「あ、これやっているなあ」と思われる方が多いのではないのでしょうか？

「育児+家事」「育児+家事+仕事」と子育て中のお母さん、お父さんは多様さが求められます。子育て中は次から次へとやる事が生まれ、また子どもはなかなか手を休ませてはくれません。すると「物事を効率的にしたい！」という発想が浮かびます。そこから「〇〇しながら〇〇を考えている」という「ながら現象」が生じるそうです。思考がばらけると、かえって物事ははかどらず、また満足できない不完全燃焼を生み出すきっかけとなり、これにより、親の「今を生きる」「今を生きている」という大事なこころの満足度、習慣が欠ける弊害につながっていくそうです。

では、子どもはどうかというと「かたづけしたくない。もっとあそびたい」「おやつたべたい、いまたべたい」「こうえんいきたい」と思ったことをすぐ口にしたり、親をひっぱって行って伝えたりと次々に思いを表しますね。これら全て「今を楽しむ」事柄で、それは「今を生きる」ことで頭がいっぱいだからだそうです。親としてよく言う「ちょっとまって」「それはあとでね」は、今を楽しむ子どもにとって、「あとってなんで？それはいつ？やだ、いま！」となりますよね。（「あとで」が伝わるよう時間や順番など具体的な見通しをつけてあげるのは、「今を楽しむ」満足感を十分に経験させることにつながりますね。）「今」に満足や集中できると、その人の幸福度が高まること、最近の心理研究でも明らかになっているそうです。

「今はやめておこう」「今は、がまん」と自分自身に我慢を強いているお母さん、お父さんはおられませんか？ 色々な我慢が重なって、物事に対し慎重になり、ガードを固くし、ピリピリしている自分に気付いた経験はどなたにもあるかと思います。子育てにおいて「今、この瞬間に集中し、大切に關わる」ことは子育てを楽しむにおいて重要だと言われますが、ご自身の今を大切にすることが、お子さんの今を生きるにつながるのではないのでしょうか。

私たち、児童発達支援センターの職員はお子さんへの直接的な発達支援だけではなく、お母さん、お父さんのサポートも重要な支援と考えています。お子さんの「今」はとても気になりますが、「今を生きる」のはお子さんだけでなく、もちろん育てる立場のお母さん、お父さんを含めてです。ご自身の今も大切にしていだけるよう、気になることがございましたら、いつでもお気軽にご相談いただければ幸いです。

